⑹【新潟県厚生農業協同組合連合会　村上総合病院】

住　　所	〒958－8553　新潟県村上市緑町５－８－１		病床数：263床
診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科		
研修責任者名	林　　達彦（病院長）	連絡先：murakami_kensyu@mgh.jp 0254-53-2141（代表）	連絡先担当者名：矢代（総務課）・ 山貝（臨床研修センター）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：１人、24年度：２人、25年度：２人、26年度：２人、27年度：１人、28年度：１人、29年度：０人、30年度：０人、令和元年度：０人、令和２年度：０人、令和３年度：０人		

研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
科目：内科（消化器・循環器・呼吸器・腎臓）、外科（一般・消化器）、小児科、産婦人科、麻酔科、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、眼科 部門：救急、一般外来	総合内科専門医３人、呼吸器学会専門医１人、消化器学会専門医・消化器内視鏡学会専門医２人、外科学会専門医・消化器外科学会専門医３人、産婦人科学会専門医３人、麻酔科学会専門医１人、脳神経外科学会専門医・脳卒中学会専門医２人、泌尿器学会専門医１人、整形外科専門医１人、眼科学会専門医１人	消化器学会指導医１人、がん治療認定機構暫定教育医２人、外科学会指導医・消化器外科学会指導医２人、泌尿器学会指導医１人、臨床腫瘍学会暫定指導医１人、産婦人科学会指導医１人、緩和医療学会暫定指導医１人

施設の概説・特徴

令和２年12月開院の、ほとんど全ての設備が新しい施設です。新潟県は下越の二次医療圏の中でも最北端に位置し、主に心不全・肺炎・尿路感染症・大腿骨近位部骨折といった高齢者が大半を占める疾患にしっかり対応し、地域の中核病院との連携を密にしています。また屋上にヘリポートを、敷地内に救急ワークステーションを備えて24時間365日の救急体制を整え、DMATを含めた災害拠点病院としても機能しています。対照的にテレビ電話を用いた粟島遠隔診療支援を古くから築くなど、後方施設との連携をアクティブにし、地域の保健・福祉に貢献する役割を担っています。

研修受け入れ可能診療科の説明

当院研修の中心は内科です。とくに常勤３名体制の消化器内科を核とし、初診外来と救急外来に輪番制で対応しており、ファーストタッチからの臨床推論の機会を増やしてもらいます。研修は一般外来をメインとした総合診療的なものになりますが、内視鏡あるいは超音波検査の実践を組み合わせて、技術習得にも重点をおきます。

また、一般外科や小児科でも初診外来の経験数を増やせます。一般外科では化学療法チームへの参加、末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入や虫垂切除術などの手技の研修、緩和医療研修が可能で、小児科では予防接種・院外検診などを通じて地域保健を学び、並行して発達外来の研修も可能です。

他の診療科も、大病院とは異なり診療科の垣根を超えた地域医療色豊かな特徴を持ちます。脳神経外科では脳卒中治療全般、整形外科では大腿骨近位部骨折を主とする外傷の初期対応、泌尿器科では尿路感染症への外科的アプローチ、麻酔科では手術室を飛び越えた周術期管理、産婦人科では特定妊婦への保健行政、そういったことを通じ総合診療の肉付けをしていきます。

救急部門は、日中の救急当番と夜間当直でコマ数を稼ぐ方式です。

研修の概説と特徴

概説は診療科の説明の項に譲りますが、全人的な診療にあたる地域医療スペシャリストの育成は国家全体の課題であり、当院の研修概念の中心を占めます。大学のような高度医療を担う施設では研修が困難とされる、一般外来研修をメインとするので臨床推論力が向上した２年次の研修が望ましいですが、１年次でも病棟研修を先行させて経験を得てからならば不可能ではありません。繰り返しですが、全体を通じてファーストタッチ、技術の習得といった実習主体の研修となります。

研修医の当直

基本的に希望者のみ、上級医とペアでの当直となります。全診療科当直であり、労働規定は遵守されます。

処　　遇

●給与：１年次月額基本給350,000円、当直手当19,400円／回、時間外手当（厚生連規定により支給）
　　２年次月額基本給370,000円、当直手当19,400円／回、時間外手当（厚生連規定により支給）
●研究費：年間100,000円
●食事：弁当注文可。院内にコンビニもあります。
●宿舎：借り上げ住宅あり（月額家賃50,000円まで補助）。
●居室：研修医専用室あり。個人ブースに分かれています。
●図書・文献：WEB検索・学習システム（UP TO DATE、メディカルオンライン、Clinicalkey、医中誌Web、今日の臨床サポート）利用可能。
●インターネット環境：各自のデスクから接続可能です。WIFI環境は良好です。

⑹【新潟県厚生農業協同組合連合会　村上総合病院】

住　　所	〒958－8553　新潟県村上市緑町５－８－１		病床数：263床
診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科		
研修責任者名	林　　達彦（病院長）	連絡先：murakami_kensyu@mgh.jp 0254-53-2141（代表）	連絡先担当者名：矢代（総務課）・ 山貝（臨床研修センター）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：１人、24年度：２人、25年度：２人、26年度：２人、27年度：１人、28年度：１人、29年度：０人、30年度：０人、令和元年度：０人、２年度：０人、令和３年度：０人		

研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：地域医療	総合内科専門医３人、呼吸器学会専門医１人、消化器学会専門医・消化器内視鏡学会専門医２人、外科学会専門医・消化器外科学会専門医３人、産婦人科学会専門医３人、麻酔科学会専門医１人、脳神経外科学会専門医・脳卒中学会専門医２人、泌尿器学会専門医１人、整形外科専門医１人、眼科学会専門医１人	消化器学会指導医１人、がん治療認定機構暫定教育医２人、外科学会指導医・消化器外科学会指導医２人、泌尿器学会指導医１人、臨床腫瘍学会暫定指導医１人、産婦人科学会指導医１人、緩和医療学会暫定指導医１人

施設の概説・特徴

令和２年12月開院の、ほとんど全ての設備が新しい施設です。新潟県は下越の二次医療圏の中でも最北端に位置し、主に心不全・肺炎・尿路感染症・大腿骨近位部骨折といった高齢者が大半を占める疾患にしっかり対応し、地域の中核病院との連携を密にしています。また屋上にヘリポートを、敷地内に救急ワークステーションを備えて24時間365日の救急体制を整え、DMATを含めた災害拠点病院としても機能しています。対照的にテレビ電話を用いた粟島遠隔診療支援を古くから築くなど、後方施設との連携をアクティブにし、地域の保健・福祉に貢献する役割を担っています。

研修受け入れ可能診療科の説明

当院で常勤医のいる全診療科で診療科別のプライマリーケア研修が行われ、そのうち内科・外科・小児科では一般外来研修も並行で行われます。

研修の概説と特徴

一般外来研修と地域医療研修から成ります。地域医療研修はさらに、地域の診療科別プライマリーケア研修、他職種研修、地域連携センター研修、粟島へき地診療所研修から成り、プログラム責任者との話し合いにより研修医毎のオリジナルプログラムが完成します。

研修医の当直

基本的に希望者のみ、上級医とペアでの当直となります。全診療科当直であり、労働規定は遵守されます。

処　　遇

●給与：１年次（月額基本給）350,000円、当直手当19,400円／回、時間外手当・（厚生連規定により支給）
　　２年次（月額基本給）370,000円、当直手当19,400円／回、時間外手当・（厚生連規定により支給）
●研究費：年間100,000円
●食事：弁当注文可。院内にコンビニもあります。
●宿舎：借り上げ住宅あり（月額家賃50,000円まで補助）。
●居室：研修医専用室あり。個人ブースに分かれています。
●図書・文献：WEB検索・学習システム（UP TO DATE、メディカルオンライン、Clinicalkey、医中誌Web、今日の臨床サポート）利用可能です。
●インターネット環境：各自のデスクから接続可能です。WIFI環境は良好です。